

## 第137号

編集・発行

2022・11・29

社会福祉法人  
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132

三戸町大字在府小路町17

TEL:0179(22)0262

FAX:0179(23)4146

# さんのへ 社協だより

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!



三戸中学校と八戸第二養護学校の交流会 ふうせんバレーを楽しむ様子 (R4.10.28 三戸中学校体育館)

## ■ おもな 内容

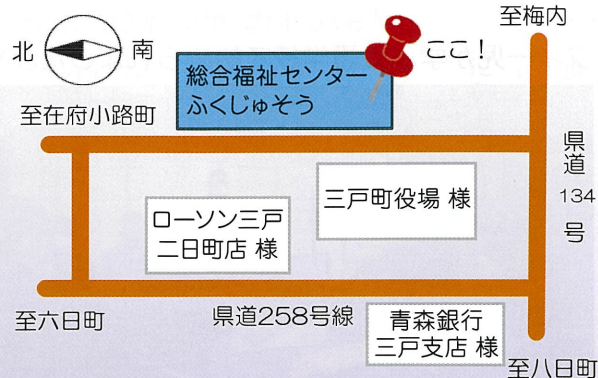
ページ

- 三戸中学校と八戸第二養護学校の交流 … 2
- 昔とった杵柄 シルバー健在 …… 3
- 令和4年度社会福祉大会受賞者の紹介  
オレンジカフェ再開のお知らせ …… 4

### 第51回三戸町社会福祉大会開催中止について

令和4年11月に開催を予定しておりました第51回三戸町社会福祉大会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を中止いたしますので、何卒ご理解とご協力をお願い致します。

## 社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。



## 三戸中学校と八戸第二養護学校の生徒がスポーツで交流

10月28日(金)、三戸中学校と八戸第二養護学校の3年生72名がパラスポーツなどを通じて交流を深めました。パラスポーツによる交流は昨年が続いて今回で2回目。昨年に行ったふうせんバレーなどのパラスポーツに加え、今回はさんのへススポーツクラブEnjoyの皆さんを講師に、氷上で行うカーリングを体育館などの床で楽しめるようにと生み出されたニュースポーツ「カローリング」を体験。参加した生徒からは、当日とこれまでの交流会全体を振り返って、「楽しく交流することができた、交流の機会を作ってくれた皆さんに感謝したい」と感想が聞かれ、笑顔と歓声の絶えない交流会となりました。

■**カローリング**…氷上のスポーツ〈カーリング〉にヒントを得て平成5年に日本で誕生したインドアスポーツ。タイヤの付いた円盤、ジェットローラを9m離れた的に投擲し、得点を競います。



投げ方を指導する講師の松原さん



試合形式を楽しむ様子。力の強弱がポイント

■**ふうせんバレー**…チーム全員が触れてから相手コートにボールを返す、という全員参加をテーマに平成元年に北九州市で生まれました。鈴が入った弾力のある大きな風船を使用します。

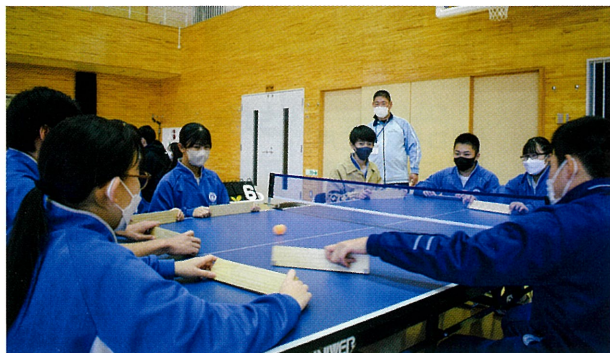


視覚を制限。鈴の音と周囲の声掛けが頼り



サーブの瞬間。周囲の生徒が支えます

■**卓球バレー**…1970年代、重い障がいがある人でもスポーツを楽しみたいと、大阪の筋ジストロフィー児が学ぶ養護学校で始められました。バレーの要領で、音が出るボールを打ち合います。



3打以内にネットの下を転がして返球します



誰でも簡単に楽しくプレー出来ますが、慣れてくると次第にボールのスピードも速くなり攻守がめまぐるしく入れ替わる展開に



# 昔とった杵柄 シルバ ー健在



山崎 和子さんの巻

昭和八年三月十八日生まれ 八十九歳

400年以上の歴史を誇り「神明さま」として親しまれている三戸大神宮。今回のシルバー健在は、ここで神職として歴代の宮司を支えてきた山崎和子さんをご紹介します。

山崎さんは、17代目の宮司で当時豊川小学校の教諭だった父武雄さん、母とくさんの次女として生まれました。「内気な子どもだったのよ、内弁慶」と話すとおり、「神社の家の子」であつたにもかかわらず、境内で遊ぶ子ども達の輪に加わることはあまりなく、「家にいるときは騒がしいのにね」と、よく母のとくさんにぼやかれていたそう。その代わり本を読むのは大好きだっ

たようで、「父が教師でしょ、だから本はたくさんあつて。近所にいた同級生のなみちゃんとはよく本の貸し借りをしたの。学校の帰り道はふたりで感想を言い合いながら歩いたわね」と少女時代の思い出を懐かしそうに話してくれました。

さて、山崎さんの大叔父で16代目宮司の命助さんが亡くなり、父武雄さんが17代目宮司となつたのが戦後まもない昭和22年のこと。

戦時中、出兵する青年たちが、お世話になった武雄先生に拜んでもらいたいと宮司ではなかった武雄さんを慕い訪ねてくる様子は強く印象に残り、現在の八戸

東高校を卒業後、得意の洋裁や和裁で家を支える一方で、「家業」である神社の仕事にも興味が向くのはごく自然なことでした。

神道の祭祀に携わるにも資格が必要となるわけで、國學院大學の講座を受講し様々な資格を取得。神職の仕事のなかでも祝詞（のりと）文の作成や祭祀道具の制作は得意なことのひとつ。

「昔から手先が器用だったし、本もたくさん読める環境だった、そういう全部が糧になったのでしようね」と話します。

17代目の父武雄さん、18代目の兄茂穂さん、そして現在、19代目の甥貴行さんと3代に渡つて宮司を支えてきた山崎さん。

「取材を受けるにあたって今朝方、色んな事が思い出されてね」と言うように、戦中戦後の食糧難のなか、食わせてやれなくてすまないと泣いた父武雄さんの姿は忘れられないし、妹勲子さんの誕生は、厳しかった小学校の先生にまで「先生、うちに赤ちゃんが生まれたんです!」と話さずにはいられないほど嬉しかった出来事、全国大会に参

加するまでに情熱を傾けた短歌とそのお仲間との思い出、本当に色々です。

「ラジオもない時代と違っていまは世界中のことを知ることができる。すっかり自分の目で見て、身近なところの幸せから作っていつて欲しい」と若い人へのメッセージ。

食べ物の好き嫌いはない!でも「昔はちよつとだけトマトが苦手だったの、いまは好きよ!:(少し小声で)兄はね、しょつちゅう好き嫌いして母に怒られてたのよ」と笑顔。これからも元気であってください。



社殿を背に1枚。取材は8月の終わり、秋を感じさせる涼しげな日でした。



# 令和4年度社会福祉大会受賞者を紹介します

今年度の全国、青森県、三戸町の社会福祉大会における受賞者の皆様をご紹介します。

受賞者の皆様はそれぞれの立場で多年に渡ってご活躍して来られた方々です。そのご功績に敬意と感謝の意を表してお名前をご紹介しますとともに、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。(※すべて敬称略、五十音順)

## 全国社会福祉大会

### 社協役員

関向 文男

## 青森県社会福祉大会

### 民生委員児童委員

井上 浩 井畑 昭治 竹鼻 頂子

### 社会福祉法人施設職員

大道 希美(三戸保育園)

## 三戸町社会福祉大会

### 民生委員児童委員

奥山登喜子 佐々木富子 田中愛一郎 伏見しげ子 二又 高志 山口 博子

### ほのぼの交流協力員

工藤わか子 沼澤 正笑 水梨たつ子 水梨りみ子 山下 美子

### 福祉団体会員

馬場 悦子(更生保護女性会)

### 社協評議員

藤沢 圭 山田 勝榮

### 寄附に対する感謝状の贈呈

株式会社山田組 株式会社ユニバース 三戸ライオンズクラブ 大友会  
斗川駐在所連絡協議会 特定非営利活動法人沙羅双樹の会

## オレンジカフェ ふくじゅそう



12月20日(火)午後1時30分 リニューアルオープン

～ またコーヒーを飲みながら、忙しい合間、ホッとひと息つきませんか ～

令和2年3月からお休みしていた、オレンジカフェふくじゅそうを12月から再開します。感染予防対策を講じたうえで、美味しいコーヒーをご用意してお待ちしておりますので、お気軽にお申込みください。(当面の間、前日までの電話予約制とします。)

## オレンジカフェとは

地域住民はもとより、認知症の人とその家族、色々な悩みを持つ人など、**どなたでも安心して、おしゃべりや専門家への相談ができる場所**です。

オレンジカフェは、認知症の人や介護をしている人だけのカフェではありません。**認知症になっても安心して暮らせる地域をつくるための場所**です。オレンジカフェという名前にはそうした願いが込められています。

🌻 場 所 三戸町総合福祉センター ふくじゅそう 地下1階 多目的スペース

🌻 参加費 ひとり 100円 🌻 申込み 前日までに電話でお申込みください

🌻 内 容 クリスマス会 ～久しぶりの再会をクリスマス会で楽しみましょう♪～ 🎅🦌

🌻 時 間 13:30 開店・カフェタイム→13:45 クリスマス会→14:30 閉店

※マスクの着用など基本的な感染症対策にご協力ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催を中止する場合があります。予めご了承ください。

●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262 FAX.23-4146